

第 11 回潟上市議会報告会
～みんなのギカイ～市民との意見交換会実施要領に基づく報告事項

市当局への質問事項

○塩口の船着場について一般質問していたが、その後の市当局の対応はどうなったか。

【回答】

塩口の船着場は、市が管理している準用河川です。八郎湖増殖漁業協同組合からの当初の要望に基づき、船着場全域を浚渫対象として工事費を算出しましたが、その後、一部のみの浚渫でも良いとの要望に変わっております。

浚渫工事は、対象水域の深浅測量等により必要箇所を選定を行い、実施することが望ましいと考えておりますが、現在、国等の補助を受けることができないため、市単独で実施する必要があります。

今後は、八郎湖増殖漁業協同組合で実際に利用している方々の航行状況を確認していただくとともに、浚渫工事の実施範囲や手法、受益者負担も含めた費用負担について、関係機関と協議を続けてまいります。

○除雪について、集落内、幹線道路の吹きだまり、特に旧湖岸保育園のグラウンド付近がひどいので、フェンスを外して風の通りを良くする等の対応をお願いしたい。

【回答】

御指摘のフェンスについては、旧湖岸保育園跡地の利活用を考えていく上で、在り方を検討するべき要素の 1 つでもあります。今回の御意見も含め、地域住民の意向を踏まえながら、旧湖岸保育園跡地の利活用と併せて検討を進めてまいります。

○空き家を解体すると、市から 60 万円の補助金はあるが更地にすると固定資産税が上がる。基礎コンを残すと税金はかからないのか。樹木を植えるとどうか。

【回答】

固定資産税については、市内では住宅解体後の方が全体税額では減額となる場合が多いのが現状です。危険な空き家である特定空家等の解体に係る土地の固定資産税軽減制度については、全国では独自に条例化している自治体もありますが、軽減

申請件数の実績は非常に少なく、本市でも大きな効果が見込めないものと考えております。

また、空き家の解体には多額の費用がかかることから、特定空家等の解体が円滑に進むよう、解体費用に対する支援を目的とした、空き家解体補助制度の活用による解体を促し、特定空家等の解決を図ってまいります。

○コロナウイルスは再流行の兆しがある。県の発表では65歳以上の感染者しか公表されない。市町村、地域ごとにもう少し公表できないのか。

【回答】

公表に当たっては、プライバシー保護の観点からもこれまでと同様に市町村や地域ごとの公表はできませんので御理解をお願いします。

○天王温泉くらはは潟上市の顔である。令和3年度決算の黒字から1億5千万円をだせるのではないか。入湯税の収入を工事費に充てても良いのではないか。温泉としての再開を望む。

【回答】

天王温泉くららについては、決して温泉井を掘削しないということではなく、現時点では活用できる補助金等が見当たらないことから引き続き補助金等の調査を行いつつ、鞍掛沼公園全体の魅力や集客力を向上させるため、施設の改修や温泉井の掘削、その財源などを総合的に検討してまいります。

○一人暮らし高齢者向けに食生活改善事業で使用されたレシピをまとめて本にし、希望者に配布してはどうか。

【回答】

潟上市食生活改善推進協議会（食生活改善を中心に健康づくり活動を推進する団体）がこれまで使用してきたレシピを1冊にまとめて、希望者に配布することは可能です。ただし、冊子は会役員と事務局の共同で作業を進めるため、令和5年度に冊子を作成し、令和6年度中に配布見込みとなります。

また、一人暮らし高齢者の安全確保については、緊急通報体制整備事業を見直し、来年度からは、緊急時に警備会社が対象者の元に駆けつけることができるシステム

に変更して対象者の安全性及び利便性をより高めた事業とする予定です。今後も高齢者向けのサービスの在り方を検証しつつ、本市の老人福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、高齢者をはじめとした市民の皆様が、医療や介護が必要になってもできるだけ住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムを更に深化させてまいります。

○市の文化祭に産業祭を取り入れてはどうか。

【回答】

産業まつりについては、平成 28 年度及び平成 29 年度に市民行事の一環として文化祭に取り入れて開催してほしい旨の市民要望があり、平成 30 年度から文化祭と合同で開催しております。その後、令和 2 年度から令和 4 年度までは、新型コロナウイルス感染症等の影響により開催しておりません。

今後の方針としては、令和 5 年度は、本市で種苗交換会を開催することから、産業まつりの開催は見送ることとし、令和 6 年度以降は、文化祭の一部として規模を縮小して開催する予定です。

○天王こども園の整備に伴い、子どもたちから周辺道路が危ないと聞いた。周辺道路が整備されていないことにがっかりした。市の担当に話したが良い返事ではなかった。学校の通学路であるにも関わらず整備もされず草刈りもしていない。草刈りをしてもらったが説得に 30 分もかかった。市民の生の声を聞いてくれるような体制を作してほしい。

【回答】

現在、市政に関する意見及び提言等は、潟上市「市民の声」実施要綱に基づき意見書箱（書面の持参を含む。）を設置しているほか、郵便、ファクシミリ、メールフォーム（電子メール）などにより受け付けており、市ホームページ及び広報かたがみで周知しております。このほか、各担当課において市民からの苦情や御意見・御要望などについて迅速に対応するなど、「市民の生の声」を聞く体制づくりに努めているところです。

- 潟上市は他市町村に比べて子育て支援が少ない。東湖小学校と天王小学校の統合説明会の際に“子どもが減る”資料を提示されたが、どうやって子どもを増やすかの議論がされていないのではないか。

【回答】

本市では、議会から御説明いただいたように、今年度から出産・小中学校入学時に応援金を支給する「かたがみ未来子育て応援金」事業を創設するとともに、福祉医療費給付事業の対象年齢を18歳まで拡充しております。そのほか、不妊治療助成では、他市町村では上限額が設定されている中で、本市においては自己負担全額を助成しており、子どもを産み育てやすい環境づくりのひとつとして、経済的な負担の軽減を図っております。

また、「子ども・子育て支援事業計画」の策定段階で、アンケートを通じて地域の子育てに関するニーズを把握し、更にそのニーズを反映した具体的な事業展開へつなげるため、潟上市子ども・子育て会議において、児童福祉、幼児教育、双方の観点をもった保護者の代表や事業者等の方々から、本市における子ども・子育て支援の施策等について調査審議していただいております。

今回頂いた御意見を受け、本市の子育て支援策に不足している具体的な今後の取組について、アンケートの調査対象の拡大や妊産婦教室等の場を活用し、子育て家庭のニーズの掘り起こしをしてまいります。

少子化対策は、まちづくりにおいて重要な課題であると認識しており、これらの子育て支援に加え、結婚支援や移住定住支援などの施策についてもまた幅広く実施しているところです。

こうした取組を継続するとともに、潟上市自治基本条例に基づき、議論や対話、交流を通じて、誰もが知恵を出し合いながらまちづくりに主体的に関われる環境の構築に努めております。

- 市にコールセンターができると聞いた。市がにぎわうチャンスだと思うが、働くだけでなく、住みたい、子どもを育てたいと思えるような支援策が必要ではないか。

【回答】

令和5年度重点施策推進方針で掲げた、本市まちづくりの将来を見据えた「稼げる力」「支える力」「考える力」の政策を3つの柱としながら重点施策を推進し、潟

上市総合計画後期基本計画の重点テーマに位置付けられている「第2次潟上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標実現を図ります。

また、潟上市自治基本条例に基づき、市民・市議会・市の執行機関が互いの役割と責任を分かち合いながら、まちづくりへの市民の主体的な関わりを推進します。

○市フットボールセンターの人工芝の張り替え予定はないか。かなり傷んでいるので整備してほしい。

【回答】

人工芝の劣化については現状把握しており、現在、劣化箇所を部分的に補修し管理しております。

本施設は「潟上市公共施設等総合管理計画」において、補修して存続する方向性としておりますが、全面的改修事業には約1億円を要することから、財源等を勘案し検討してまいります。

議会への要望

○議会広報のタイトルが「みんなのギカイ」とカタカナ表記になっている。全県でも潟上市だけである。漢字表記に直してほしい。

【回答】

若い方々を含めて、一人でも多くの方々に手に取っていただきたいとの思いからカタカナ表記にしたため、しばらくは続けていきたいと思っております。

○一般質問時の顔写真がマスクを着けているので、マスクのないものを載せるようにしてほしい。

【回答】

コロナが終息するまでは付けたままにします。

○議会広報の賛否一覧表について、どうして反対なのか簡単な説明を載せてほしい。

【回答】

討論があれば理由を掲載することが出来ます。

○市議員の倫理審査結果について、4～5年も続いている。市民としては心が痛む行為で、他市でも例はあるが早期に解決している。このような状態を早く改善してほしい。このようなケースは第三者委員会を作って対応してみてもどうか議長に提案する。

【回答】

今後直していきたいと考えています。